

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号：CRC-155

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠
MSI-High 大腸がん	Pembrolizumab 単剤	21日間 or 42日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	最小度	N Engl J Med 383: 2207-18, 2020

	薬品名	投与量	投与 経路	投与 時間	Day														20	21
					1	2	~													
【3週間隔で投与する場合】																				
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓															
②	キイトルーダ 生理食塩液	200mg/body 50mL	点滴静注	30分	↓															
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓															
	薬品名	投与量	投与 経路	投与 時間	Day														41	42
【6週間隔で投与する場合】																				
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓															
②	キイトルーダ 生理食塩液	400mg/body 50mL	点滴静注	30分	↓															
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓															

＜注意事項/備考＞

- ✓ Pembrolizumab：0.2または0.22 μmのインラインフィルターを用いて投与
- ✓ 間質性肺炎：初期症状は息切れ、発熱、咳嗽（空咳）など。胸部X線検査やSPO2モニタリング等で定期的モニタリングを
- ✓ 血糖上昇：口渇、多飲、多尿、倦怠感などの症状に注意。来院時には血糖の測定を
- ✓ 大腸炎、下痢：持続する腹痛、嘔吐、下痢、血便など
- ✓ 甲状腺機能障害：投与中は定期的にTSH、FT3、FT4などの検査を
- ✓ 皮膚障害：スキンケアや保湿剤で予防を。必要に応じてステロイド剤の使用